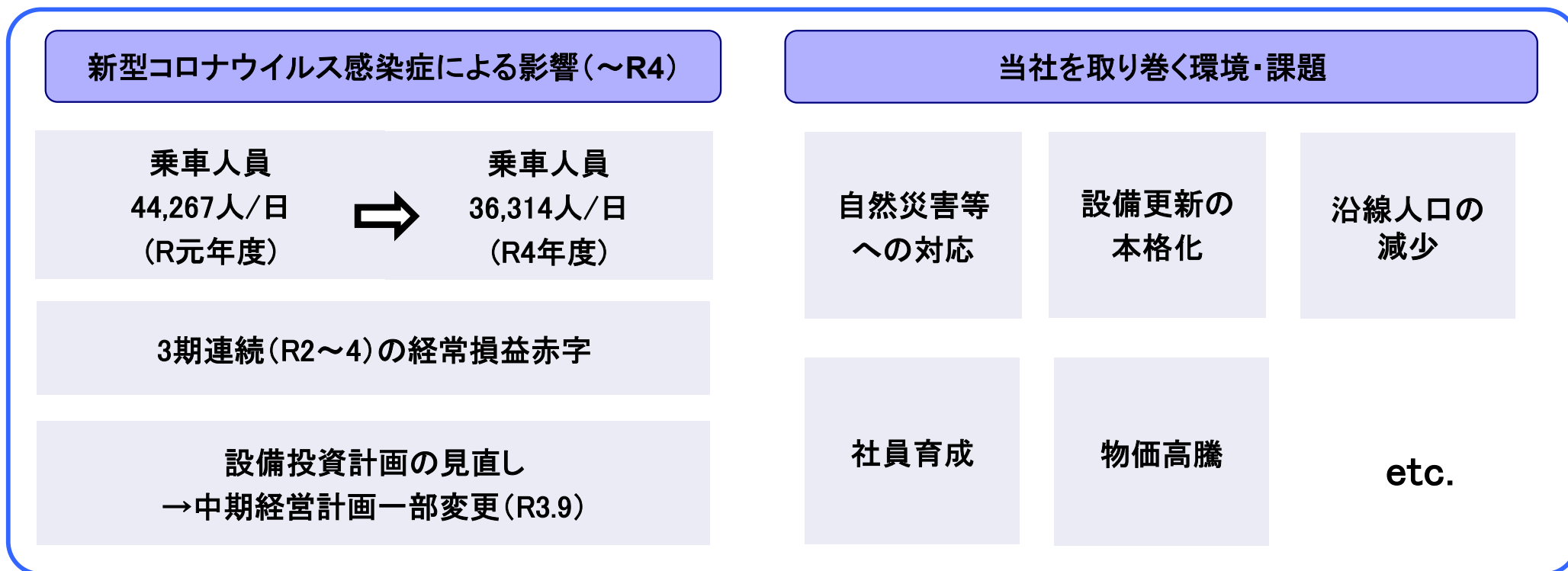


中期経営計画
(令和5年度～7年度)
～新たな成長に向けて～
概要版

名古屋臨海高速鉄道株式会社
令和5年3月



◆ 計画策定の背景及び趣旨



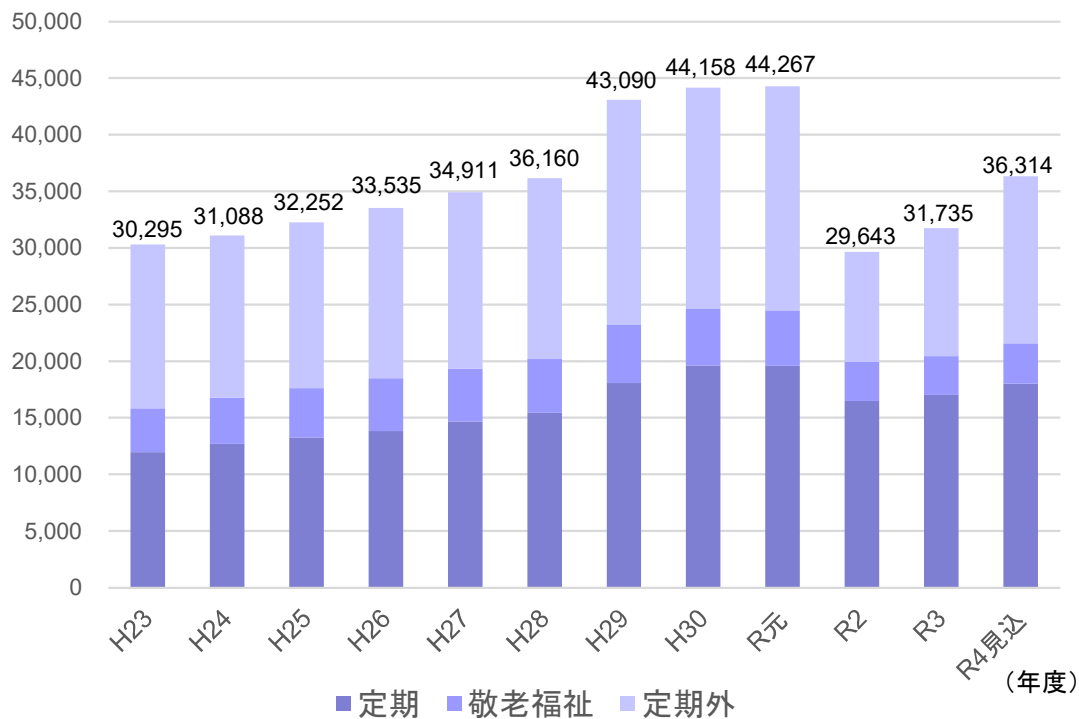
前計画の前半3か年が終了し計画を見直すタイミングであることから、前計画の基本戦略を堅持しつつ、現状の課題をふまえ、新型コロナウイルス感染症の影響からの回復や計画的な設備更新、自然災害等に対応できる事業形態の検討などを含めた新たな計画を策定することが必要

新たな中期経営計画(R5～7)を策定

◆ 当社の現状

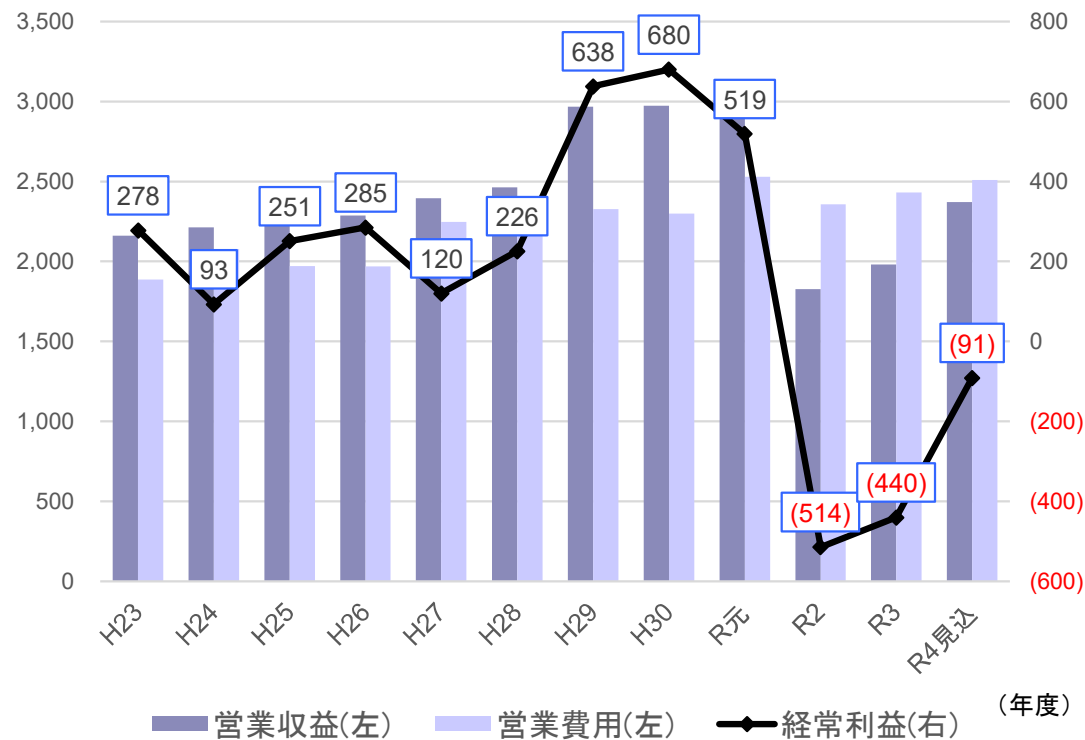
(単位:人/日)

一日当りの乗車人員の推移



(単位:百万円)

収支の推移



○平成23年度以降、沿線開発の進展(平成29年度レゴランド及びグローバルゲート開業等)に伴い、乗車人員が順調に増加し、9期連続で経常損益の黒字を達成

○しかし、令和2年度に新型コロナウイルス感染症の影響を受け、乗車人員が大幅に減少。回復しつつはあるものの令和4年度まで3期連続で赤字に転落。

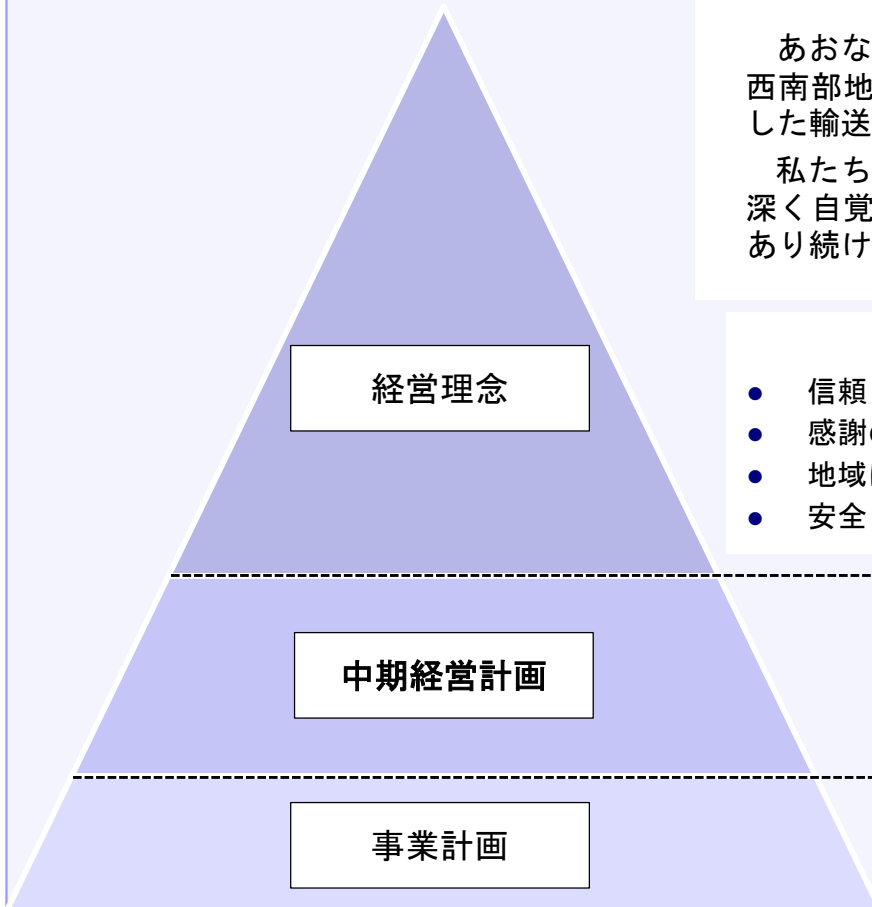


◆ 計画概要①

○ 計画期間

令和5年度～令和7年度までの3年間

○ 計画の位置づけ



あおなみ線は、安全で皆さまから信頼される鉄道であることを最優先に、名古屋市西南部地域にとって不可欠な基幹公共交通としての役割を担い、将来にわたって安定した輸送サービスを提供し続けることを使命としています。

私たちは、この使命とお客さまのかけがえのない尊い命をお預かりしている責任を深く自覚し、お客さまはもとより地域、社会の皆さまから信頼していただける企業であり続けることを目指します。

行動指針

- 信頼される安全最優先の運行を実行します
- 感謝の心を込めたサービスを提供します
- 地域に密着し、地域の発展に貢献します
- 安全・安心で信頼される鉄道であり続けるため、健全で安定した経営を確保します

経営理念のもとに中期的ビジョンを示し、その実現のために取組む方策を明らかにしたもの

中期経営計画に基づく単年度の取組み

◆計画概要②

○計画ビジョン(目指す姿)

ビジョン1

安全最優先の取組みを更に発展させ、人口減少社会の到来にも対応できる、お客さまや地域社会の皆さまから信頼される企業

ビジョン2

ウィズコロナ・ポストコロナの環境変化を踏まえ、新型コロナウイルス感染症の影響からの回復(収支の改善)

○計画方針

- ・お客さまに安心してご利用いただける、安全を最優先にした輸送サービスの提供
- ・お客さまに快適にご利用いただける、高品質な輸送サービスの提供
- ・将来に渡ってお客さまに安定した輸送サービスを提供できる企業となるために、健全な経営を推進

○基本戦略

3つの基本戦略(① 安全最優先の輸送サービスの提供、② 高品質なサービスの提供、③ 健全な経営の推進)を設定し、各戦略ごとに具体的な取組みを実施します

○計画期間中の主な取組み

基本戦略 ①安全最優先の輸送サービスの提供

- ・ルールの標準化・明文化によりルール遵守を徹底し、強固な安全文化を構築します
- ・可動式ホーム柵(全駅更新完了)や運行管理システム等の設備・施設を計画的に更新し、安全性を高めます
- ・キャリア形成プログラムの確立、新規採用社員の研修制度の見直し、長期的な社員採用計画の策定・実施等による社員の確保を実施して安全な輸送を担う社員を育成します
- ・異常時対応体制を強化するとともに、訓練の充実を図ります



(可動式ホーム柵の更新)



(警察との合同訓練)

○計画期間中の主な取組み

基本戦略 ②高品質な輸送サービスの提供

・駅コンコース改札上への列車走行位置の表示、ホームページ上での列車走行位置の提供を実施し、お客さまにとって分かりやすい情報を発信します

・旅客指令による案内を充実させ、駅構内カメラの増設により、イベント時の安全なお客さま案内を目指します

・どなたにも使いやすいようトイレの洋式化を進めます(全駅更新完了)



(旅客指令室)



(トイレ洋式化)

○計画期間中の主な取組み

基本戦略 ③健全な経営の推進

- ・自然災害等の危機に備え、将来に渡って持続可能な事業形態を検討します
- ・沿線施設との連携強化、魅力発掘による当社線のPR拡充に取り組みます
- ・委託やリース等の活用、契約手続きの見直し、照明のLED化等により経費を削減します
- ・性別を問わず誰もが働きやすい職場環境づくりを推進します



(沿線との連携)



(照明LED化)

◆計画期間中の目標

○鉄道運転事故、輸送障害、インシデントゼロ

- ・鉄道運転事故等0件を目指し、安全最優先で取り組みます

○設備投資

- ・以下の設備投資を実施し、安全やサービスの向上を図ります

	R5～R7年度	主な事項
安全に関わる施設・設備更新等	約48億円	・ホーム柵、運行管理システム更新
快適なサービスのための施設整備	約5億円	・各駅トイレ洋式化

○技術継承、後継者育成

- ・キャリア形成プログラムや研修を通じて将来を担う社員を計画的に育成します

○経常損益の黒字化及び継続

- ・経常損益を黒字化するとともに、継続します

◆収支見込み等(令和5～11年度)

○輸送人員見込み

(単位:人/日)

	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
人員	41,400	41,900	42,900	42,800	43,100	43,000	43,700

○損益及びキャッシュ・フロー見込み

(単位:百万円)

	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
営業収益	2,849	2,885	2,969	2,957	2,979	2,957	3,002
営業費用	2,785	2,774	2,881	2,829	2,904	2,894	2,936
経常損益	62	101	67	79	30	21	27
現預金残高	1,745	1,664	1,799	983	646	628	972

